

第2回 (7/18号)

水稻病虫害発生予察の結果について

① 生育状況

平坦地・山間地ともに、中干し適期をむかえています。長岡の小坂・天野地区、大仁の神島地区では中干しに入っています。山間地においては、中干しも終了し、幼穂形成も始まっています。早い圃場では1週間後程度から出穂が見え始めると考えられます。大仁地区、韮山・江間地区では20本前後の分けつ数で、中干しの適期となってきました。

② 病虫害状況

ウンカ・ヨコバイともに発生数は多くないですが、前回と比べ増加しています。今後発生量に注意しましょう。今年は県内でイネカメムシの発生が多い傾向があります。管内では、まだ発生の確認はできていないですが、山間地ではカメムシの多発生も懸念されます。薬剤による防除を行う方は、スタークル粒剤の散布を推奨します。また、出穂10日前までに畦畔の除草を行い、畦畔雑草からの水田への飛び込みを防ぎましょう。

イネカメムシ



○スタークル粒剤

使用量：3kg/10a 3,360円/1袋 (3kg)

時期：出穂後7~10日後

備考：カメムシ以外にもウンカ類やヨコバイ、ニカメイチュウ等の害虫にも効果あり。
 2週間~3週間の残効あり

○ビームバシボン粉剤

使用量：3~4kg/10a 2,530円/1袋 (3kg)

時期：収穫14日前まで

備考：ウンカ類、カメムシ類にも効果あり
 速効性あり、多発生時に散布

③中干し中に使用する除草剤

中干し中に、除草剤を散布したい方は以下の除草剤を使用してください。

○バサグラン粒剤 3~4kg/10a 3,420円/3kg

○2.4-Dアミン塩 80~120ml/10a (70~100ℓで散布) 330円/100ml

○クリンチャーバスME液剤 500~700ml/10a (70~100ℓで散布) 2,090円/500ml

※2.4-Dアミン塩について

使用時期は有効分けつ終止期~幼穂形成期前です。

幼穂形成後に使用すると、幼穂が形成しなくなるため注意してください。

問い合わせ：韮山営農経済センター 勝又 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。